

食道癌におけるFDG PETの予後評価及び病期診断の検討**1、研究の目的と意義**

食道癌の診断には局所進行度の診断としては、内視鏡や超音波内視鏡が、転移診断としては、CTやMRIを用いた画像診断が用いられますが、近年悪性腫瘍の診断として有用性が高いとされるFDG PETが頻用されるようになりつつあります。

FDG PETはブドウ糖に類似した物質であるFDGを投与することで悪性腫瘍の診断を行う核医学検査です、CT、MRI等に比べて解像度が非常に低いため、一般的には進行癌の診断として用いられることが多いです。近年技術開発に伴い画質が改善され表在癌であっても有用とする報告が見られるようになってきました。本研究では表在型食道癌症例において、FDGの所見がある群と無い群を比較することで経過や最終病期診断が異なるかどうかを評価します。

この研究により、FDG PETが食道癌診断にどのような利点があるか、また利点大きい患者がどのような病期に多いかを明らかにすることができ、食道癌におけるFDG PETの利用の最適化に寄与することが可能となります。

2、対象となる患者さん

2010年7月1日～2020年6月30日の間に、未治療表在型食道癌の診断・評価目的で長崎大学病院にてFDG PET検査を撮像された患者さんを対象とします。

3、研究の方法

FDGの集積の有無・集積の程度と治療開始時点での病期診断、及び2023年12月31日時点での経過の違いを比較評価します。

4、研究に用いる試料・情報

- 患者背景
- 血液学的検査、血液性化学検査
- 病理診断
- FDG PET
- 画像検査
- 病期診断
- 治療法
- 治療経過

本研究で利用する情報について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

5、研究期間

研究機関長の許可日～2024年6月30日

6、外部への試料・情報の提供

本研究から得られた結果を資金提供先と共有する可能性があります。
個別別のデータについては共有・提供は行いません。

7、研究実施体制

この研究は長崎大学病院のみで実施する研究です。

《研究責任者》

長崎大学原爆後障害医療研究所 アイソトープ診断治療学研究分野
井手口 怜子

《資金提供先》

日本メジフィジックス株式会社
代表取締役社長 田村 伸彦
住所：東京都江東区新砂3丁目4番10号
電話：03-5634-7006

8.お問い合わせ先

長崎大学原爆後障害医療研究所 アイソトープ診断治療学研究分野 井手口 怜子
〒852 - 8523
長崎県 長崎市坂本1丁目12番4号
電話：095-819-7101

【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）

苦情相談窓口：医療安全課 095（819）7616

受付時間：月～金 9：00～17：00（祝・祭日を除く）